

審議会等の会議結果報告

| | |
|------------|---|
| 1. 会 議 名 | 令和3年度第1回松阪市子ども発達総合支援センター 経営評価委員会 |
| 2. 開 催 日 時 | 令和3年7月30日（金） 午後2時から午後3時35分 |
| 3. 開 催 場 所 | 松阪市下村町 875 番地 1 松阪市子ども発達総合支援センター 多目的室 1 |
| 4. 出席者氏名 | （委 員）宮下真有美、○八田久子、後 建夫、谷口 壽、◎佐藤 祐司、澄野久生、大辻結花、藤武利文、谷中靖彦 （◎委員長 ○副委員長） （事務局）廣本知律こども局長、荒木章次子ども発達総合支援セン ター所長、青木覚司副所長、塩野裕美療育支援担当監、新田和弘 療育支援担当主幹、本田めぐみ育ちサポート担当主幹 |
| 5. 公開及び非公開 | 公 開 |
| 6. 傍 聴 者 数 | 0 人 |
| 7. 担 当 | 松阪市下村町 875 番地 1 松阪市健康福祉部こども局子ども発達総合支援センター 担当者：青木 電 話：0598-30-4411 F A X：0598-30-4433 E-mail：kod.dev.c@city.matsusaka.mie.jp |

事項

1. 挨拶
2. 松阪市子ども発達総合支援センター経営評価委員会委員の交代について
3. 議 事
 - (1) 経営評価シート（事業実施関係）について
 - (2) サービス提供自己評価シートについて
 - ① 児童福祉法に関する事業関係
 - ② 発達に関する相談支援事業関係
 - (3) 放課後等デイサービス自己評価表（事業者向け）について
 - (4) 市長に対する提言（案）について
4. その他
 - (1) 市長報告の日程について

議事録

別紙「令和3年度第1回松阪市子ども発達総合支援センター経営評価委員会議事録」のとおり

令和3年度 第1回 松阪市子ども発達総合支援センター経営評価委員会 議事録

日 時：令和3年7月30日（金）14:00～15:35

場 所：子ども発達総合支援センター 多目的室1

出席委員：宮下真有美、八田久子、後 建夫、谷口 壽、佐藤祐司、澄野久生、大辻 結花、
藤武利文、谷中靖彦

事務局：廣本知律こども局長、荒木章次子ども発達総合支援センター所長、青木覚司子ども発達総合支援センター副所長、塩野裕美療育支援担当監、新田和弘療育支援担当主幹、
本田めぐみ育ちサポート担当主幹

配付資料：

- ・令和3年度 第1回松阪市子ども発達総合支援センター経営評価委員会事項書
- ・松阪市子ども発達総合支援センター経営評価委員会委員名簿
- ・松阪市子ども発達総合支援センター経営評価シート 【資料1】
- ・自己評価シート（①児童福祉法に関する事業関係） 【資料2】
- ・自己評価シート（②発達に関する相談支援事業関係）【資料2】
- ・（事業者向け）放課後等デイサービス自己評価表 【資料3】
- ・松阪市子ども発達総合支援センター経営に関する提言（案）
- ・松阪市子ども発達総合支援センター経営評価に関する資料に対する意見等

[議事録]

1. 挨拶

【司会】

本日はご多忙のところ、当委員会にご出席をいただき誠にありがとうございます。ただ今から令和3年度第1回「松阪市子ども発達総合支援センター経営評価委員会」を開催させていただきます。

2. 経営評価委員会の交代について

市の人事異動により委員の交代がありました。

委員紹介及び事務局職員自己紹介

【司会】

それでは議事に入らせていただきます。なお当委員会規則第6条によりまして、委員長が議長となりますのでよろしくお願いします。

3. 議事

【議長】

それでは、お手元の事項書に沿って進めさせていただきます。

事項書の3「議事」の(1)「経営評価シート（事業実施関係）」について、事務局から説明をして下さい。

【事務局】

資料1「松阪市子ども発達総合支援センター経営評価シート」をもとに説明。

【議長】

事務局の説明が終わりました。説明・資料に関しまして何か質問・意見等ありませんか。

【議長】

いかがですか。ございませんか。では、私の方から質問させていただきます。

評価のランクがSからEまでありまして、Eというのはコロナの関係でそもそも実施していないということで、仕方ないところだと思いますが、それ以外はほとんどがBで少しDが散見されると言った内容になっています。こんな声をどういうふうに、今日から変わるように事業の改善を行っていくかということについて伺いたいのですが、例えばこの評価枠がCとかDが混ざっているようであれば、まずそこを底上げするということが必要だと思うんですけども、それは少なくとも今回は見当たりません。他はBということで、現在B評価のものを上げるとなるとAかSしかありませんし、A評価をSに上げるとなると、おそらく進捗に比べ非常に多くのエネルギーを消費しなければいけないだろうと思うんですけども、センターとしてはこれらの1番重要な評価項目について、EとSのところを除いてどういうふうに変更していく、改善していかれるお考えなのかをお聞かせいただけますでしょうか。

【事務局】

ありがとうございます。経営評価シートの中でB評価というのが多数を占めております。この後説明させていただきますが、職員の自己評価シートというのがございます。ただそれを含めましてもやはりBという評価が多くございます。その中で先ほど申しました通り、利用者アンケートを見ますと必ずしも良い評価ばかりではございません。厳しいご意見もいただいております。そういったご意見に対してはどういうふうに対応していくのか、センターとして考えて取り組んでいくことがいわゆる自己評価であったり、この経営評価がCからB、またBからAへと向上していく元になるのではないかと考えておりますので、利用者の方々の率直なご意見にどう対応していくかセンターの中で協議をしていくことが、センター全体の評価としても向上していくのではないかと考えております。

【議長】

ありがとうございました。他にございませんか。

【委員】

B評価が多く、きちんと取り組んでいると理解します。ただ、こういう評価をするのは、そだちの丘が社会の役に立っているか、どう改善していけばいいのか検証するために行っていると思いますので、重点項目を年度ごとに決め、具体的な計画目標を設定して1年間取り組んで、どうであったかを評価してはどうかと考えます。これは意見です。

【議長】

ありがとうございました。他にございませんか。

【委員】

No50の地域デイサービス事業がE評価となっていますが、説明をお願いします。

【事務局】

地域デイサービス事業は、飯南・飯高地域にお住まいで、そだちの丘までの通所が困難な方を対象に、こちらから出向いてサービスを提供するものですが、昨年度は要望が無かったことから非該当のE評価としたものです。

【議長】

他よろしいですか。

では、続きまして「議事」の(2)「サービス提供自己評価シートについて」、事務局から説明願います。

【事務局】

資料2「自己評価シート(①児童福祉法に関する事業関係)」

資料2「自己評価シート②(発達に関する相談支援事業関係)」をもとに説明。

【議長】

それでは、説明・資料に関するご質問、ご意見等をお願いします。

【委員】

利用者アンケートと自己評価シートはリンクしていますか。

【事務局】

ありがとうございます。利用者アンケートと職員の自己評価のリンクというのはございません。先ほど申しました通り、職員の評価の方と利用者の評価の方でご意見いただいております。評価としては利用者の方からの評価が低くなったというところで乖離がしているのが事実というところがございます。

【議長】

他にご意見、ご質問ございませんでしょうか。ございませんか。では、私の方から一つ質問させていただきます。この質問は1、2共通のことなんですけれども。例えば、②の1ページ目の1の(1)、同じく2ページの3の(3)あたりを比較していただくといいと思うんですけど、これは自己評価ですから仕事をなさっている方々の感じ方、感じやすいことがこのアンケート結果にでていると思うんです。今言いました2つで、どうしてもS、A、B、C、Dの平均みたいなところが気になるころではあるんですけども、私としてはばらつき、分散ということなんですけれども、ばらつきの方が気になりまして。例えば最初言った1ページの1の(1)というのは、令和元年度を見てみると、かなりばらつきがあるわけです。2ページの3の(3)を見ると、ばらつきがほとんどない。簡単に言うと1の(1)に関しては、これは働く方々の意思というものがかなりばらつきがあるんですけども、2の3の(3)の方は、およそほとんどの方がばらつくことなくBだなというふうに思ってた。私が気になるのが、ばらつきがくっきりあるというのは、職員間での意識のばらつきがあるということなので、ミーティングなどに何度も取り組むことにより平準化していくことができるのではないかと考えますし、分散値の高い項目を分析していくことも検討してはどうかと思います。

他にご意見・ご質問はございませんか。

【委員】

自己評価シートはSからDまで評価値となっていますが、評価値SとAを足して比率が高い項目、CとDを足して比率が高い項目をそれぞれ集計し、成果の高い項目・低い項目を認識するなどデータを利用した施設の方向性を注目して行ってほしいと思います。意見です。

【議長】

他にごございませんか。

【委員】

コロナウイルス感染症の影響はありましたか。

【事務局】

センターの事業に相談支援事業がありますが、センターに来所されてご相談される方もみえますし、またはこちらから担当者が学校に訪問したり、保育園に訪問したりする場合がございます。その中で、やはり電話での相談というのが昨年度は元年度と比べますと約200件増えております。ここに来所されることなく、電話でのご相談というのが多かったという印象でございますので、評価につきましてはコロナの影響というのはあまりないのではないかと考えています。

【委員】

他にいかがでしょうか。

【委員】

自己評価シートの地域支援体制にC評価が多い気がします。地域とのつながり、連携につなが

る施策をお願いしたいと思います。

【事務局】

今年度から保育所等訪問支援事業を開始しました。センターでの子どもの姿と保育園等での子どもの姿が別のものであってはいけない、大人数の中の子どもの姿を学校の先生や保育士とセンターの訓練士が同じ認識で捉えるよう支援を行っています。

また特別支援学校の生徒の地域との交流につきましては、教育委員会が地元の学校との交流に取り組んでいます。

【議長】

他、よろしいですか。続きまして、「議事」の(3)「放課後等デイサービス自己評価表(事業者向け)」について、事務局から説明願います。

【事務局】

資料3「放課後等デイサービス自己評価表(事業者向け)」をもとに説明。

【議長】

ありがとうございました。事務局の説明が終わりました。ご質問ご意見をお願いしたいと思います。

【議長】

無いようでしたら私から質問させていただきます。

このようなチェックシートの場合、例えば適切であるかとか、業務改善につなげているかというふうな質問に対して、「はい」か「いいえ」か「どちらでもない」か答えるとなると、「いいえ」に丸が付いているとどうしてもまずいなというか後ろ向きになってしまうような気がするんですけど、例えば1ページの14番、これ「いいえ」が付いております。私は訓練の専門家ではないので、どのような訓練が理想的なのかということについては分かりませんが、例えば訓練の内容が個別活動と集団活動というふうに分かれている場合、個別の訓練に時間を割くべき状況とか利用者とか、あるいは集団活動に重点をおいた方が良い状態とか、あるいは利用者の特性もあると思うので、「いいえ」の中身が問題で、令和3年度改善されたというお話でしたけど、個別の訓練が主となるべきタイミングであれば、それだけでなくいいと思うんですね。だから、仮にチェックシートに関しては「いいえ」であったとしても、実体としては利用者の状態を予測して訓練サービスを提供しているというのであれば、よろしくないというふうに考える必要はないんじゃないかなと思うんですけども、事務局としては「どちらともいえない」とか、「いいえ」というのは全部「はい」に丸が付くようなそういう状態を目指しているのか、ということをお願いしたいんですけど、その点についていかがでしょうか。

【事務局】

今おっしゃっていただきました通り、当然個別が適切な場合、それから集団が適切な場合があ

りますので、なんでもが個別の次は集団だというような考えではございません。これは訓練士が検討委員会を持ちまして、児童に効果があると思われる支援計画を策定します。委員からしっかりした根拠を持って考えているのであれば良いと言っていたのはありがたいことでございます。そのような考えで進めております。

【議長】

では引き続きまして、「議事」の(4)「市長に対する提言(案)について」、事務局から説明願います。

【事務局】

資料「松阪市子ども発達総合支援センター経営に関する提言(案)」をもとに説明。

【議長】

ありがとうございました。では説明いただきました提言案につきまして、ご質問ご意見等お願いしたいと思います。

【委員】

提言書の2.「利用者の視点から考える施設運営」の(1)療育・訓練についてですが、利用者アンケートの満足度が10%減となったあたりの理由について、具体的な対策や取り組みは何かありますか。

【事務局】

令和元年度から令和2年度にかけてプログラムを変更しています。

元年度はクラスを細かくしていましたが、2年度は緩やかなクラス分けを行い、かつ保育士が担当していたのを専門職が入ってクラス運営をしています。多職種で運営する集団療育に入り、必要なら個別訓練を行っています。

「利用回数を増やす」や「訓練の予約」については、令和3年度から個別だけでなく複数での訓練を必要に応じてやることで予約を若干取りやすくしています。

「ねらいや課題が理解しづらい」については、今までも訓練のあとの面談を行っていましたが、限られた時間であったため、令和3年1月には、通常の療育をストップして面談の時間を設け、時間をかけて保護者の意見や要望を聞いています。

【議長】

ありがとうございました。他に何かありますでしょうか。

【委員】

1(1)利用者の状況についてですが、昨年度の利用延人数は増加し、利用率も増加しているが、利用定員数に対する延利用者数が約半数です。半数しかいないというのはそもそも望んでい

るサービスや提供できるサービス体制がなっていないのかなと気がします。これはサービスのスタッフの方の人数であるとか、いろんな要因があって非常に難しいと思うんですけども、利用定員が半分にもいってないということは、何か改善というか対策が必要ではないかと思います。

【事務局】

ありがとうございます。委員がおっしゃったように、センターには定員がありますが、延利用者数としては、定員の47.56%の利用でした。

この施設は人材が第一だと思っています。質の高いサービスを提供するために人材確保が必要ですが非常に難儀しているところです。専門的なスタッフを確保しなければならないというところで人材難から確保ができていないのが第一の原因と思っています。その中で「そだちの丘」は専門職が多くいます。専門職が療育に入って保育士と一緒に療育することで専門人材の不足を補っていければと考え、2年度から体制を変えているところです。

【議長】

ありがとうございました。他ございませんか。

【委員】

47.56%は施設の空間に対する数値でよろしいですか。

【事務局】

児童発達支援、放課後等デイサービス2つを合わせて定員55人で利用者数が47.56%です。

【委員】

職員の人数からすると、職員の負担できる人数が30人ぐらいでいっぱい、申し込みがあっても受け入れられない状態ですか。

【事務局】

受け入れ側の人材不足から現状お待ちいただく状況が発生しています。

【委員】

職員が1日中かきりきりでこの状況ですか。午前午後と分けても、空いている時間はありますか。

【事務局】

午前・午後両方に訓練に入っていますが、8時半から17時まで訓練という訳ではございません。内部事務であったり、振り返りなどで現状いっぱいの状況です。

【委員】

そういうことであれば職員の数を増やすしか比率を上げるのは難しいですね。

【事務局】

現在も職員を募集しています。職員が見つければ余裕が生まれる状態になりますが、求人を出してもなかなか応募していただくのが難しい状況です。引き続き募集していきます。

【委員】

人材不足からこの数字になっていることを示してはどうですか。

【委員】

ありがとうございます。人材面で苦慮している状況を組み入れたいと思います。

【議長】

他ございませんか。無ければ私から1点お伺いします。

1(2) 経営面についてですが、「今後の経営について経費を抑制、削減、低コストへの取り組みを図り」とありますが、何か改善の方策がありますか。

【事務局】

3年度から児童発達支援センターの機能を有しています。センター化により報酬単価がアップし収入の増加が見込まれます。センター化に伴い保育所等訪問支援事業と障害児相談支援を新規に開始しますが、保育所等訪問支援事業は、市内で「そだちの丘」のみの事業でありセールスポイントになるのではないかと考えています。

【議長】

それでは、子ども発達総合支援センター経営に関する提言(案)の1(1)と1(2)の表現を事務局で修正をお願いしたいと思います。

8月の提言までに文章を修正して委員の皆さんの了解をいただいたものを最終案としたいと思います。委員の皆様よろしいですか。

【各委員】

(了承)

【議長】

あと何かございませんか。

【委員】

昨年度、経営評価委員会で第2期経営計画書を作成しました。第2期の計画書は令和3年度から5年度までの3年間の計画書です。これまで市長への提言は毎年度実施していましたが、今後

は市長への提言を計画書の期別に合わせて行ってはどうでしょうか。

今年度は予定通り実施しますが、次回以降は3年毎の「経営計画書」に提言を反映できる形に変更してはどうでしょうか。

【議長】

只今のご意見に対しまして、委員の皆様いかがでしょうか。

反対の方はお見えですか。

【各委員】

(了承)

【議長】

反対のご意見は無いようですので、今年度は予定通り来月に実施しますが、次回以降は経営計画書のサイクルに合わせて、3年毎の提言に改めさせていただきます。

以上で議事は終了しましたが、この際ですので委員の皆さんから何かございましたらいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

市長への提言が3年に1回になることで、そだちの丘の予算が減らされるとか必要な予算を取ってもらえないようなことはないのでしょうか。

【事務局】

市長への提言は3年に1回になりますが、経営評価委員会は今までと変更ありません。経営状況の報告を行い、経営評価を委員の皆さんにお願いしていきます。

予算に関しましては、毎年、次年度の予算査定というのがあります。必要な予算は計上していきますが、IT化や事務の効率化を図れるところは経費の削減を考えてまいります。

何度も申し上げますが、「そだちの丘」は人材が第一です。サービスの質を低下させない事を念頭に置いて事業に取り組んでまいります。

【議長】

本日、予定していました議事は、これですべて終了しました。残りの進行につきましては、事務局にお返しします。議事の進行にご協力いただきありがとうございました。

【司会】

長時間ご審議いただき、ありがとうございました。また、議事進行につきましてもご協力いただきありがとうございました。

【事務局】

4. その他

- ・ 保育所等訪問支援事業について

事業内容の説明

- ・ 市長報告の日程について

8月18日（水）午前11時30分から

松阪市役所3階 市長応接室

【司会】

これもちまして、第1回経営評価委員会を終了とさせていただきます。本日はお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございました。気をつけてお帰り下さい。